

令和7年度 学校評価 教職員アンケート集計結果

評 価	5	学校全体として よく達成された／非常によくやっている／そう思う
	4	学校全体として 達成された／よくやっている／どちらかというと思う
	3	学校全体として どちらとも言えない
	2	学校全体として あまり達成されていない／あまりやっていない／どちらかというと思わない
	1	学校全体として 全く達成されなかった／全くやっていない／と思わない

評 価 項 目		回 答 数 30 名					前年度		
		評 価							
		5 人数	4 人数	3 人数	2 人数	1 人数		平均	
(1) 学校運営の充実	1	学年・分掌、教職員の連携を図り、円滑な人間関係の中で実効性のある教育活動を展開する。	2	18	8	2	0	3.7	3.8
	2	ホームページや新聞等を活用し、学校教育活動を大いにPRしながら、学校・家庭・地域の連携を図る。	6	11	10	3	0	3.7	4.1
(2) 「授業で勝負する」学習指導の充実（授業第一主義と家庭学習の充実）	3	50分授業の徹底を図る。	18	6	4	1	1	4.3	4.1
	4	授業規律を確立し「分かる」授業・「できる」授業を展開する。	10	14	4	2	0	4.1	3.9
	5	生徒の努力が力に結びつく教材（課題等）をとおして、家庭学習の習慣化を図る。	3	13	12	2	0	3.6	3.4
	6	教科担任・担任・学年が一体となった学習指導態勢と部活動顧問との協力態勢の確立を図る。	4	16	8	2	0	3.7	3.5
	7	授業評価などを実施し、教職員・生徒がともに学び合うことにより、授業改善や信頼関係の構築につなげる。	9	12	9	0	0	4.0	3.9
(3) 生徒指導の充実（学校生活の全ての基本は生徒指導）	8	挨拶の励行、遅刻・欠席の防止、服装・容儀指導や清掃活動等を通して基本的生活習慣の確立を図る。	6	13	8	3	0	3.7	3.6
	9	生徒一人一人の理解と、教職員の共通理解に基づく指導態勢の確立を図る。	3	17	8	2	0	3.7	3.7
	10	HR活動や学校行事などへの積極的参加を促し、帰属意識を高めるとともに適切な倫理観や他者を思いやる道徳観を身につけさせる。	6	16	7	1	0	3.9	4.0
	11	部活動参加を積極的に推進し、学校全体の士気を高め、かつその知名度向上を図り、活気ある学校づくりに努める。	3	22	2	3	0	3.8	3.7
	12	ボランティア活動や地域活動への参加を推進する。	11	14	4	1	0	4.2	4.4
(4) 進路指導の充実（希望進路実現に向けて）	13	学年と進路指導部が連携し、社会の変化と要請に応じた進路指導を、中長期的展望を持って組織的・戦略的に行う。	6	16	8	0	0	3.9	4.0
	14	キャリア教育の一環として、社会から情報を収集する力と社会へ情報を発信する力を身につけさせる。	2	16	11	1	0	3.6	3.9
	15	生徒一人一人の特性を考慮した受験形態の対策を講ずる。	6	13	11	0	0	3.8	3.9
	16	オープンキャンパスや高校生スキルアッププログラム・体験活動・実習等への参加を推奨し、志望進路を明確化させる。	5	19	5	1	0	3.9	4.3
(5) 健康・安全指導の充実（健康で安心・安全な生活に向けて）	17	命を大切にし、将来にわたって心身ともに健全な健康観を持った生徒の育成を図る。	9	18	3	0	0	4.2	4.1
	18	生徒の心身の健康問題の早期発見・早期対応に努める。	10	14	6	0	0	4.1	4.2
	19	不登校生徒の未然防止のため、学年・保健相談部と連携した教育相談に努める。	10	14	6	0	0	4.1	4.0
	20	登下校指導における自転車通学等、交通マナーの徹底を図る。	5	13	8	4	0	3.6	3.7
	21	避難経路や避難場所を理解させ有事の時の危機管理につなげる。	12	12	5	1	0	4.2	4.5